



岡山市連合町内会会報

ホームページ簡単検索

岡山市連合町内会会報

検索



発行人：久世英一 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 TEL:086-803-1063 FAX:086-803-1872 編集委員長：長門修二

岡山市町内会長等懇談会

岡山市連合町内会 会長 久世 英一

春分の季節、町内会関係者各位におかれましてはご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成30年2月4日（日）百花プラザ多目的ホールにおいて、岡山市町内会長等懇談会を開催しました。

当日は大変寒い中、市内の町内会関係者、地域の安全・安心に携わっている方々にご参加いただきました。大森市長のほか、多くの来賓の方にもご臨席を賜り、町内会活動をはじめとして地域活動をしておられる方々に感謝と励ましのお言葉を頂きました。

また、日頃から長年にわたり地域活動にご尽力され、れんげ賞を受賞された方々には、心からお祝い申し上げます。

活動紹介では、スクリーンを使って岡山市連合町内会の活動報告があり、参加された皆様に連合町内会の活動が分かっただけでなく、思いが伝わりました。

各区での報告では、事前に単位町内会長の意見等を聞き、その内容を発表していただきました。



全体の様子

出された意見の全てではなかったのですが、市の担当局に内容を伝え、この懇談会で市の局長から回答をしてもらいました。参加した方全員の納得できる回答というものは難しかったと思いますが、出席いただいた局長、開催にあたり準備をいただいた関係者の方々にお礼申し上げます。

今年度は、光生病院名誉院長の小出典男氏に「ポンコツ車」〜燃料切れまで自力で走ろう〜という演題で講演していただきました。

大事に乗ればいつまでも乗

れます。人間も健康診断等受け、いつまでも元気に生きていこうと教えて下さいました。



活動紹介の様子

これから包括的な住民組織として、安全・安心な地域社会の形成、構築、維持に向けて進んでまいりたいと思います。何卒今後とも町内会、連合町内会へのご協力をお願いします。



講演の様子

会報第31号 目次

岡山市町内会長等懇談会	1
各区長からの寄稿	2
北区・中区	3
東区・南区	2
常任理事視察研修	4
会員視察研修	5
新春互礼会及び市政・活動報告会	6
姫路・鳥取・岡山 三市姉妹交流会	6
中四国自治会連絡協議会	7
岡山市連合婦人会との懇談会	7
子ども・子育て専門委員会の活動について	8
都市整備局との懇談会	8
全国自治会連合会大阪府 東大阪大会に参加して	9
過疎と高齢者のまち	10
学区・地区の話題	11
御南学区・足守学区	12
三軒学区・平島学区	11
第二藤田学区・芳明学区	13
コラム 町内会を考える（2）	14
岡山市連合町内会の動き	15
岡山県自治会連合会の動き	15
全国自治会連合会の動き	15
クイズ	16
編集後記	16

北区について

北区長 山地 由記

岡山市連合町内会の皆様には、平素より市政にご協力、またご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、岡山市北区の概況ですが、面積は、岡山市の約57%を占め、人口は、岡山市人口の約43%とどちらも4区の中で一番多くなっています。また、吉備津神社、造山古墳、高松城址、近水園、犬養木堂生家、河原邸などの文化財は数多くあり、本市の約4分の3を占めています。そして、白桃、マスカット等のブドウ、足守メロン、黄ニラなどに代表される特産品も豊富にあります。

その一方で、中心市街地と中山間地域を併せ持つっており、単独世帯が多い、外国人人口が多い、過疎化が進んでいるなど、地域によって、抱える課題等も様々です。

このような中、北区連合町内会連絡協議会では、北区の様々な地区を視察され、各地区の努力されているところや、問題点などを共有したり、町内会長等懇談会を開催してそれぞれの地域での課題をまとめるなど様々な工夫をされ



北区連合町内会連絡協議会の視察の様子



北区での懇談会の様子

ておられます。私も参加、拝見させていただきましたが、その熱意と努力に敬意を表すとともに感謝いたしております。

最後に、岡山市では、平成28年度に「第六次総合計画」を策定し、その前期中期計画の区別計画におきまして、「自然と共生し、歴史と文化が薫る 賑わいと交流のまち 北区」を区づくりの将来目標とし、皆様と一緒に様々な施策を展開していきたいと考えておりますので、今後一層のご協力、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

「住む喜びに満ちた中区」を目指して

中区長 高橋 克行

中区は、都心部に近接していることから、都市としての利便性が高い暮らしを享受できると同時に、旭川や百間川、操山など、豊かな水や緑を身近に感じることができ、快適な住環境に恵まれています。「岡山市第六次総合計画」の「区別計画」においても、この「住みやすさ」に着目し、一層の磨きをかけていこうという考えのもとに、将来目標や施策展開の方向性を掲げ、区民の皆様と協働して各施策を推進しているところです。

ナルのイメージキャラクター」のお披露目を行った学区もあり、そのクオリティの高さに感心するとともに、当学区の底力の様なものを感じました。いずれの報告も、地域への愛着と誇りにあふれ、そして前向きで、かつ、自立的でした。こうした地域愛、そしてコミュニティの結束力や実行力の高さこそ、中区のまちづくりにおける最も貴重な資源であると強く感じた一日でした。

こうした中、昨年11月「第二回中区町内会長等懇談会」が開催され、各学区の活動報告が行われました。やはり、高齢社会に関する取組みが多かったのですが、切り口が、「認知症カフェ」「健康チェック」「ケアプラン」「老人クラブ活動」「ウォーキング大会」「健康体操」等、各学区様々で、いずれも興味深く拝聴させていただきました。その他も「防災」「未来を担う子ども達に関する取組み」「新たなイベントの開催」「新設の公民館に関する考察」等、多彩な取組みに熱弁が振られました。二十数年ぶりの「学区夏祭りの復活」では、発表者の方の達成感や喜びがひしひしと伝わってきました。「地域オリジ



中区での懇談会の様子

東区連合町内会長との懇談会

東区長 中田 幸成

さる、12月1日に東区内の連合町内会長と東区役所の職員との懇談会がありました。

東区は、4区のうち唯一人口減少期に突入しており、第六次総合計画の区別計画で「いつまでも住み続けたい 歴史が息づき愛着の持てるまち」を区づくりの将来目標として掲げています。

どうしたら住み続けてもらえるか、住み続けたいと思えるかを常に念頭に地域の意見をお聞きすることが重要であると考えています。

懇談会で出た主なご意見は、南海トラフ巨大地震に備えて上南地域の児島湾沿いの堤防の耐震化や砂川の堤防の改修など防災に関すること、朝夕の通勤時間帯の交通渋滞の解消や通学路の安全対策、また、最近、街中でも頻繁に出没するようになった「イノシシ」などの有害鳥獣被害について早く対策を進めて欲しいという意見がありました。そして、「自分の学区には目を向けてもらっていないのでは」というような厳しい意見もいただきました。いずれの意見も、地域をよくしようという熱い思いが込められていると感じました。

懇談会の前日には、市長が11月定例市議会で、「合併地域などの中山間・周辺地域に対して、今こそ、新たな取り組みを始めるべきである」と所信表明したこともあり、新しい事業の内容や制度についての質問がありました。詳細については現在検討中であり、決定したらお伝えすることとしました。

時間の都合ですべてのご意見をお聞きすることはできませんでしたが、これからも地域の具体的な課題についてお聞きする機会が必要であると思いました。



東区での懇談会の様子

笑顔輝く実りのふるさと南区

南区長 山口 啓二

岡山市連合町内会の皆様には、平素より、南区行政各般にわたりご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

南区という区の名称は、全国20政令市の中で最も多く、13市に上ります。その中でも、岡山市南区は、札幌市南区に次いで2番目の広さであり、都市環境が実に多彩です。大規模な干拓地は、南部に広大な穀倉地帯を擁し、北部は人口密集地となっています。瀬戸内海国立公園に指定されている児島半島、人造湖では世界有数の広さを誇る児島湖、岡南地域には臨海工業地帯が広がり、国史跡の彦崎貝塚は縄文の歴史を今に伝えます。区民の皆様には、地域活動をとおして豊かな南区の資源を活かしたまちづくりを進められておられますことに、心より敬意を表します。

さて、昨年11月、南区連合町内会長等懇談会が開催されました。会議では、公共交通の利便性向上、道路の整備促進、防災対策の充実、農業の振興、用水路の安全対策などが熱心に議論されました。いずれも、南区ならではの日々の生活に密接に関わる課題です。区役所は、市民生活に最も身近な総合出先機関であり、

区民の皆様とは、膝を詰めて意見を交わし、理解を深め合うことができます。区役所ならではの企画力・行動力を高め、また、地域の皆様との協働を深める中で、豊かで活力ある区づくりを進めていきたいと考えています。

岡山市第六次総合計画における南区の将来目標である「人・まち・自然が調和し、笑顔輝く実りのふるさと」の実現に向け、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



南区での懇談会の様子

常任理事視察研修

岡山市連合町内会 常任理事 遠藤 太郎

平成29年10月10日・11日に常任理事会で富山市を視察しました。

初日は、富山市役所を訪問して次の4点について伺いました。

- ①富山市での学校選択制について
- ・中学校に入るときに、通学区域以外の選択制が導入されている。
- ・他の校区を選択するのは7%程度。
- ・他の校区へ行っても地域活動は行っている。
- ・人気のない学校というのではないと考えている。
- ・この制度自体は、地域に悪影響を及ぼしていないと考えている。
- ②学校パトロール隊について
- ・警察との連携は、校区によって差はあるが警察を招いての研修であったり、交通安全のキャンペーン中には連携する行事が多い。
- ・若い人の担い手不足が課題。
- ③富山市のコンパクトシティの考え方について
- ・現在の市長が就任した時の課題として「自動車がないと

生活できない」「道路や上下水道が広がりすぎているため、維持管理コストが大きい」「市の中心部の空洞化が起きている」といった課題があり、それらの解決のためにコンパクトシティを進めた。

・公共交通の活性化とそれによるまちづくり」「中心市街地の活性化」を行い、中心市街地を活性化することでの固定資産税の収収を確保し、その収収で周辺への施策を進めていくことができると考えている。

・市長就任の年に各地域でのタウンミーティングを100回以上行い、中心市街地を活性化させることで固定資産税を安定させ、その収収を周辺市街地の活性化に回す説明をした。

・新幹線の効果もあるが、中心市街地の地価は下げ止まり、近年増加に転じた。公共交通の沿線では、人が流出せずに転入超過になってきた。

・北陸新幹線開通に合わせて、「路面電車を廃止してバス路線にする」「一部路面電車を残して利便性の向上」「駅を

高架化して路面電車を駅の下に通す」の3つの選択肢があり、「路面電車を廃止してバス路線にする」について社会実験を行ったが、それでは利用者が減ったため、「一部路面電車を残して利便性の向上」を選択した。その結果、当初は赤字予想だったが、実際は黒字になった。

・路面電車を整備するにあたり、1時間に1便だったのを15分間隔にしたり、終電を23時30分まで延長したり、全電停をバリアフリーにした結果、利用者が2.2倍となった。

④自治振興連絡協議会について

・マンシヨン人口が増えており、自治会としての交流人口は減っている感覚である。

・小学校区ごとに地区センターがあり、そこには公民館機能もあり自治会専属の職員もいる。

・地区センターが地域活動(自治会)、教育活動(公民館)、行政サービス(各種証明)を行っている。



四季防災館での様子



富山市役所での懇談の様子

2日目は四季防災館を訪問して、富山の春夏秋冬の災害や自然の特性を体験し、自然災害の歴史とその克服に向けた先人たちの努力について学びました。

2日間とも学ぶことが多く、有意義な視察となりました。



4年ぶり
岡山公演

世界最大級の大スペクタクル

木下大サカス®



'18 6月9日(土) ▶ 9月3日(月)

岡山市南区 天満屋ハッピータウン岡南店 特設会場

※休演日:毎週木曜日と6月13日(水)、7月11日(水)、8月8日(水)

駐車場に限りがございますので、公共交通機関もご利用下さい

会員視察研修

岡山市連合町内会 副会長 多賀 克充

平成29年11月14日・15日に神戸市と淡路市へ会員32名で視察に行きました。

1日目は、神戸市を視察しました。

【人と未来防災センター】

・阪神淡路大震災時の様子を資料や映像を含めて実体験し、防災や減災に必要な知識を得ました。

・震災体験者による語り部講話があり、高速道路が横倒しになった近くに住む本人から連絡が途絶えた大変さや、日頃の人のつながりの重要さと、行政に頼るのではなく、被災者が自ら運営する避難所は自立が早いことなどを学びました。



語り部講話の様子

【神戸市北区ひよどり台防災福祉コミュニティ】
・ひよどり台地域は、山を切り開いて造成された団地です。昭和50年に造成された団地は高齢化率43%、平成18年頃造成された団地は高齢化率6%という2つの地域に分かれており、地域防災福祉は地域全体で取り組むという意識で、防災福祉コミュニティの中に「防災ジュニアチーム」が結成されています。

・「防災ジュニアチーム」は、地域の中学生全員と小学校高学年の希望者で構成され、平時はお年寄りの緩やかな見守り活動やゴミ出しの手伝いなどを行っています。災害時には、自分の命を守るとともに地域防災の担い手となつてもらうことを目的としています。

・「防災ジュニアチーム」の活動は、原則第2土曜日で、年度末には防災テストを実施し、その結果を学校へも報告しています。また、特別研修として少年消防クラブ交流会（全国大会）への参加も行っています。

・勉強も大事だが、地域活動も大事であることを学校関係者も理解しており、小学校では「防災ジュニアチーム」の活動を授業の中で紹介しています。中学校では部活動を調整したり、学校便りへ活動を紹介するなどの協力をしてい

ます。地域内での活動の「見える化」を進めています。保護者、先生、子どもたち、地域の人も好評で、今年度総務省から取材を受けました。

・地域防災力の向上は、住民同士のコミュニティ強化にあるという普遍的原則であり、「防災ジュニアチーム」はその増進・推進役を果たしています。

・防災や減災は、「自助・共助・公助・近所」からで、地域住民同士の「顔と顔の見える化」の構築が必要です。



神戸市北区ひよどり台の視察の様子

2日目は、淡路市を視察しました。

【淡路市連合町内会との懇談】
・阪神淡路大震災時は、旧北淡路町がもっとも家屋倒壊の被害を受けた地域でした。

・しかし旧北淡路町では、地震発生直後に消防団員が町内の住宅のガスの元栓を閉めて回ったり、住民の救助活動などを行ったりの活躍がありました。

した。地震発生当日の火災発生はわずか2件で、その日のうちに町内の行方不明者も0人となり、全員の安否確認ができました。これは、昔ながらのコミュニティが十分に機能していたからだと考えられています。

・震災時は、消防団と住民が連携して救助活動を行い、避難所では町内会役員が積極的に生活支援や避難所運営に携わるなど、地域の連帯意識が高く皆さんの協力があつたので乗り越えることができたと考えられています。震災後20年以上が経過し、過疎化や高齢化で消防団員も減少するなどしており、防災力の低下が徐々に進行しています。

・町内会の役員が1年から2年で交代することから活動の継続がやりづらくなっています。そこで、地域防災リーダーの育成を強化したいと考えています。



淡路市連合町内会との懇談の様子

全館バリアフリー

地元で生まれた さくら祭典

ISO 9001 認証取得 価格保証 JECIA

岡山県認定第1号 最高ランク給付 ★★★★★ 5つ星取得



さくらホール岡山駅前

岡山市北区駅元町5-1

☎086-898-1234



さくらホール十日市

岡山市北区十日市西町9-15

☎086-237-1234



さくらホールきびつ

岡山市北区西辛川425

☎086-284-4500



さくらホール江並

岡山市中区江並88-1

☎086-277-1110



さくらホール上道

岡山市東区中尾380

☎086-278-0001



さくらホールあかいわ

赤磐市下市641-1

☎086-956-1177



さくらホールせとうち

瀬戸内市邑久町下笠加 238

☎0869-24-2300

宗旨・宗派を問わず承ります

<24時間受付・年中無休>

簡単検索

さくら祭典

検索

新春互礼会及び 市政・活動報告会

岡山市連合町内会 常任理事 加藤 公彦

平成30年1月9日、メルパルク岡山において、岡山市連合町内会新春互礼会及び市政・活動報告会が開催されました。来賓として、宮武議長、田尻副議長、市側から大森市長、繁定・佐々木両副市長、江田局長のご臨席を賜り、約80人が出席し開かれました。

久世会長より、「昨年も九州北部豪雨災害をはじめとする、多くの自然災害が発生しました。そのため、会員の視察研修のテーマを防災とし『神戸市北区ひよどり台防災福祉コミュニティ』等を訪問し、普段からの訓練や地域のつながりの重要性などを学びました。地域では多くの課題が山積しており問題解決のためには、行政への要望だけではなく、町内会等の各種団体が積極的に協力することが大事です。」と挨拶がありました。

そして、連合町内会会員の方々の様々な賞の披露と花束贈呈に続き、宮武議長より来賓の挨拶がありました。

大森市長より施策や動向について市政報告がありました。

【中山間・周辺地域の施策】中山間・周辺地域では、将来

に対する強い不安や焦りの声を多く聞き、施策を新たなステージに引き上げることにし、約35億円の地域振興基金を活用し、今後10年を目標に地域の機能や魅力を高めていきます。

【まちの賑わいと魅力づくり】地域経済の活性化やまちなかの賑わい、回遊性の向上など、岡山の持つ魅力・強みをいかした産業・観光振興に精力的に取り組んでいきます。

今年も市民と一緒に考え行動し、誠実に、かつ積極的に取り組んでいきますと述べられました。

最後に久世会長から岡山市連合町内会活動報告があり、盛会のうちに終わりました。



久世会長の挨拶

姫路・鳥取・岡山三市姉妹交流会

岡山市連合町内会 副会長 永見 勝

第11回三市姉妹交流会が平成29年9月22日に鳥取市青谷町総合支所にて開催されました。今回は三市それぞれのテーマで発表がありました。

姫路市は「自治会を取り巻く諸課題に向けた取り組み」について

本部役員で構成する自治会活動等検討会に加え、新たに14に分割したブロックごとに本部役員と地区連合自治会の正副会長とで意見交換会を年4～6回開催しています。

鳥取市は「加入促進への取り組み」について

市自治連合会加入率が年々低下している状況を踏まえ、各町内会を対象に行ったアンケート調査の結果を基に対策を検討しています。

岡山市は「地域行事に参加することで一体感の醸成や町内会の加入促進活動」について

バールンアートを地域の祭り等ですると、子どもたちが喜び、多数集まるようになり、祭りが全体が盛り上がり、地域の活性化につながっています。長く続けることが大切です。



三市姉妹交流会の様子

です。マンション住人やビル入居の店舗からの会費徴収は65%位に減額しています。祭りに中学生にも役割を分担してもらい達成感を得ています。三市から加入率アップにつながる取組や活発な意見が多く出ました。

少子高齢化、地方の人口減少と時代の大きな波を受け、役員に負担感がある、会費が高い、魅力やメリットを感じない等、自治会に対して様々な考えをもつ人々がいます。これからの三市で有効な手立てについて情報の交換や共有を重ね、自治会組織の弱体化を食い止めなくてはいけないと強く思いました。



社会医療法人 一 救急指定病院 一

光生病院

(公財)日本医療機能評価機構認定病院

理事長・院長 佐能暁雄

☎(086)222-6806 (代)

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目8番35号

バス：JR岡山駅より倉敷方面行き光生病院前下車

タクシー：JR岡山駅・天満屋より約5分

内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科
呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 心臓血管外科
神経内科 リハビリテーション科 放射線科 心療内科
皮膚科 泌尿器科 ペインクリニック内科 眼科 歯科

受付時間

午前 8:30～11:45
午後 12:30～16:30

診療開始

午前 9:00～
午後 13:00～

休診日

土曜午後・日曜日・祝日
急患は、24時間受け付けます。(内科・外科)



中四国自治会連絡協議会

平成30年2月9日（金）岡山市のピュアリティまきぎにおいて、平成29年度中四国自治会連絡協議会が開催されました。岡山県、鳥取県、広島県、山口県、香川県、高知県から約120名が参加し、3県の取組み事例が紹介されました。

山口県自治会連合会の取り組み発表では、自治会の行ったアンケート結果からわかる運営上の悩みや、それらを少しでも解決するための支援として、行政と共に市の制度説明会や自治会長への研修会を開催している事例が紹介されました。

香川県からは、丸亀市の栗熊小学校区の取り組みとして、地域住民から募集したキャラクターの「クリックマン」を活用して地域の見守り活動を行ったり、応援ソングがつくられて、多くの地域住民の絆を深める活動ができていた事例が紹介されました。

岡山県からは、岡山市の取り組みとして電子町内会が紹介

され、導入経緯や導入効果が説明された後、実際に活用している「御野学区連合町内会」と「加茂学区連合町内会」の事例が、それぞれの連合町内会長によって紹介されました。

どの事例も参考になったように、「すぐにでも地域で今回の事例を紹介してみよう」と話をされた参加者もいました。

協議会の後に開催された懇親会では、関西高校吹奏学部の皆さんの演奏によって大変盛り上がり、参加者の一体感や絆が一層深まった協議会となりました。

来年度は鳥取県での開催を予定しています。



協議会の様子

岡山市連合婦人会との懇談会

岡山市連合町内会 常任理事 渡邊 唯志

平成29年10月28日に岡山市連合婦人会との懇談会に出席しました。

テーマを設けずに自由討論となりましたが、主題は会員数減少対策に集約されました。人々の価値観が大きく変化した現在、この問題の解決は容易ではありません。

町内会と婦人会の共通点を見ると

①戦前は官制団体であり、戦後は解体されたが【協働社会に根差した地域住民の任意団体】として復活したこと。

②会員数の減少・高齢化、参加者の低下、役員に偏る運営と役員のボス化、活動目的の不明確さ、マンネリ化、行政への依存体質があること。

③会への参加動機は多くは「お付き合い」で自ら進んでの参加は4分の1に満たないこと。

④活動目的は共に住みよい町づくりを目指していること。これらの共通点からして町

内会と婦人会は相互補完的に活動すべきです。社会構造は都会化し、核家族化・個人主義へと変化して、地縁の基礎は大きく揺らいでいるので、他の関係諸団体とも包括的な関係を結び、地域の間人関係の再構築を図るべきと考えます。その為には、町内会を核とした【単位町内会・町内会婦人部】を確立することに重点を置くことがよいのではないかと思います。

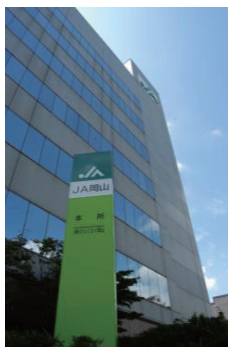


懇談会の様子

JA岡山は

『ありがとう伝えて広がる協同の和』を合言葉に

次世代農業従事者はもとより、JA事業をご利用の方々へ広く組合員加入を推進しています。



岡山市農業協同組合

〒700-8535 岡山市北区大供表町1番1号
TEL(086)225-3251 FAX(086)225-9878

子ども・子育て専門委員会の活動について

子ども・子育て専門委員会 副委員長 光岡 久志

子育てをめぐる環境が大きく変化しています。少子化傾向は今後も続き、その対策が大きな課題となっています。近年、女性の社会進出、女性の職場進出が進み、子育てと仕事の両立が難しいことなどが要因の一つとしてあげられますが、子ども自身が健やかに育てられる社会、安心して子どもを育てることのできる社会の形成が急務となっています。

子ども・子育て専門委員会では、町内会で子育てや教育環境の充実を図ることを目的として、平成27年度から活動を行っています。また、委員会では「子育て・教育に関する事項について」の要望書を作成することを最終目標としました。

これまでの取組みとしては、

こども園の開園に関するアンケートの実施、待機児童、放課後児童クラブの今後について、さらに教育等の問題を関係部局と懇談を行い、平成28年度に要望書の提出を行い回答を頂いています。現状においては、待機児童の問題、こども園の今後についてなど課題は多い状況ですが、地域課題の提示、諸問題の共有

など一定の成果も得たのではと考えます。

今後の目標は、地域の実情を考慮し、地域の関係者、保護者、現場関係者の意見を伺うとともに協議を通じて情報共有を図りながら進めていくことが必要です。効率化を優先するあまり教育、保育の質が低下すること懸念されますが、大切なことは、質の高い保育、教育を受けられることです。都市部、地方でも子育てしやすい環境、仕事と子育てが両立できる環境を作ることが必要です。

今後も、これまでの取組みから課題も多く出されたことで子育てに関する意見や要望を地域の皆様から挙げていただき、さらに協働による取組みを進めていきたいと思っています。



懇談の様子

都市整備局との懇談会

岡山市連合町内会 常任理事 岸本 戴男

平成29年10月23日、都市整備局との懇談会は、大森市長、都市整備局の大杉、林両局長、市民協働局の江田局長、岡山市連合町内会の久世会長他8名、事務局3名が出席して行われ、市長の冒頭あいさつ後、次のような懇談が行われました。

懇談は次のような内容でした。
○各区へ提出した要望の流れについて

・基本的には、区役所の地域整備課に言ってもらえれば、どこが対応できるのかが分かる。
・場所によって対応先は県だったり、国だったりするが、市が窓口になって県や国に話をしたいと考えている。

○今後の計画と区の予算と現在の計画の進捗状況について
「内環状、中環状、外環状道路」を中心とした大きなプロジェクトとして動いている道路網の説明を受けた。

・各区の連合町内会連絡協議会の会合の連絡をもらえたら、各区の担当から区毎の説明をさせてもらうこともできる。

・国からの補助金が毎年変動し、その影響を受けることから、いつまでに工事が終わるかという情報を出すことは難

しい。入札が終わって発注業者が決まれば一般に情報を出すことができるが、その前の段階では事業認可をとったりするために、地元の了解を得たりするなどの様々な手続きがあるので、情報をすべて出すのは難しい。

○期成会の活動状況について
・市長がトップになっている期成会について、県や国へ要望している資料を一式頂いた。

○その他

・吉備線LRT化について、総社市とJＲと共に検討を進めているところであり、ようやく全体の事業費や毎年の運営経費が見えてきたところであり、今年度中には整理して話をしたいと考えている。



都市整備局との懇談の様子

C A M R Y



NOAH



COROLLA FIELDER



トヨタカローラ岡山

詳しくはホームページで!!

トヨタカローラ岡山

検索

各店の定休日は 毎週月曜日

月曜日が祝日の場合は、翌日が定休日となります。
(ゴールデンウィーク・夏季休暇・年末年始を除く)

全国自治会連合会 大阪府東大阪大会に参加して

岡山市連合町内会 副会長 伊永 高明

平成29年11月9日、大阪府中央区の松下IMPホールで開催された全国自治会連合会大阪府東大阪大会は、約1000名の自治会の関係者が集まり盛大に開催されました。

岡山市連合町内会からは20名の役員が参加し、全国各地の仲間と交流を深めることができました。

大会では内閣総理大臣のメッセージ披露や大会宣言が採択され、長年、地域のために尽力された方の表彰が行われ、岡山市連合町内会からは、石井学区の矢根亮二さんと富山学区の笠原一郎さんが会長表彰を受賞されました。

第2部では、関西フィルハーモニーの弦楽四重奏の特別演奏が行われ、素晴らしい弦楽器の演奏に会場は包まれました。

第3部では、地元東大阪市の自治協議会の活動報告が「東大阪まちづくり、ものづくりの過去、現在、未来」と題して「語り部シアター」として映像を見ながら紹介されました。

この報告の中で、犯罪発生件

数ワースト1位の汚名を返上するため、青色パトロール隊を導入し、この青色パトロールで使用する車両は、個人が所有する車ではなく自治協議会が所有する専用車でパトロールが行われていることが紹介されました。

第4部では、全国の仲間たちとの交流会が行われ、鉄砲節や元宝塚のメンバーによる歌や踊りが披露され、交流会は幕を下ろしました。

現在、東大阪市の、ネジヤボルトから人工衛星まで制作する「ものづくりのまち」として注目されており、今後も発展を続けていく意気込みが感じられる大会となりました。



式典の様子

社会福祉法人 鷺山会
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
岡山シルバーセンター
〒701-1345 岡山県岡山市新庄上545-1
☎086-287-5111 ☎086-287-5005
岡山シルバーデイサービスセンター
岡山シルバー在宅介護支援センター
ケアハウスゆうすてい岡山

地域とともに
未来を拓く
藤田団地事業協同組合
一般社団法人藤田団地管理組合
藤田団地汚水処理施設管理組合
藤田企業団地自治会
〒701-0221 岡山市南区藤田564番地166
電話086-296-0020
FAX086-296-0021

葬儀 法要 「いい葬儀だったねえ…」
アパシホール ホール使用料 光熱費 スタッフ費用 無料!!
岡山・倉敷で11ホール
JA岡山指定店
岡山福吉ホール ☎(086)902-1122
西市ホール ☎(086)244-3377
西川原ホール ☎(086)271-0011
あなごのアーバンホール
お気軽にお問合せください!

おいしいデザートのお菓子をどうぞ..

株式会社ドンレミー 岡山工場
岡山市南区藤田 566-276 ☎086-250-0511
ドンレミーアウトレット岡山店
岡山市南区藤田 566-276 ☎086-296-2871

SPORTS ENTERTAINMENT **ROUND1 STADIUM**
BOWLING AMUSEMENT DARTS KARAOKE SPO-CHA
国道2号沿い妹尾西交差点を東へ約900m 無料駐車場台数520台
岡山県岡山市南区妹尾3413-1
ROUND1 STADIUM 岡山妹尾店
TEL 086-282-8851
http://www.round1.co.jp/

「淳風誠心」
～人にやさしく、心をこめて～
社会福祉法人 淳風福祉会
若宮園・若宮の杜 TEL(086)281-0862
〒701-0206 岡山市南区箕島3566-1
淳風ライフケアポート TEL(086)252-5050
〒700-0072 岡山市北区万成東町2-28

過疎と高齢者のまち

内山下地区連合町内会 会長 松浦 満

私の住むまちは、県庁と天満屋・表町商店街に囲まれた静かなまち、内山下地区です。マンション（新住民）が立ち並び賑やかなまちと思われていますが、実態は違います。町内会を運営しているのは旧住民（1戸建住民）で二極化したまち、町内会運営は危機的な状況となっています。

内山下地区には、25単位町内会があり新住民と旧住民であわせて4,500人が住んでいます。ある単位町内会から5年後にはゴミ出しができなくなるという問題提起がありました。

そのため、平成29年7月21日に情報交換会を開きました。会場には内山下地区単位町内会長と地域包括ケア推進課、社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域ケア総合推進センターの方々にも同席していただき話し合いを行いました。皆様からは深刻な事態が語られ、どうしたらいいのか考えさせられました。ある町内会では、20年前の80世帯から、現在は22世帯になっていると報告があり、私が町内会長をし

ている丸の内2丁目町内会でも、会長を受けた時に120世帯だったものが、今ではすでに74世帯となっています。今後さらに高齢化が進み旧住民が減るだろうと思います。

その結果、資源ゴミの当番は80歳以上の高齢者も当番になっていたような状況です。ある町内会では、高齢者3人で資源ゴミ管理を行っていたが、2人が亡くなり、現在では1人でゴミ当番を6年から7年やっているという単位町内会長もいるとのこと。また、35世帯のうち14世帯が高齢者世帯でゴミは家の前に出しておいて、近所の人が手伝って集積場へ持っていくという町内会もあるそうです。（支え合いの組織はないが、既に町内で支え合いは行っている。古いマンション等は高齢者や低所得者が多く、問題がありスラム化している所も多々あると聞いています。カーペットや布団が道に投げてあることがあり、旧住民の町内会で対応しているとか、町内会に入っていないマンションもあり、生ゴミはマンション自治会で管理しているところ

（賃貸・分譲・戸数で差あり）があるが、資源ゴミには対応していないところが多いため旧住民で処理しています。当然、町内のゴミ回収の当番はしないし、資源ゴミの当番もしてもられません。全て旧住民で対応していると聞いています。

80歳以上の、高齢だからといつても、ゴミ当番を免除できないのが現状です。ゴミ当番名簿には、80歳以上の方も名簿に名前を入れていますが、名前を落とすと次々と私も私もと収拾がつかなくなるとか、次の担い手がいないため引退できないとか、資源ゴミの回収場所の道路使用許可も町内会で行っているといった状況です。

旧住民高齢者の負担増となっているが、市役所の担当窓口は目先の問題の解決ばかり考えて、長期的な課題には触れようとしないとか、色々な問題がでてきました。今後、行政と諸問題を詰めていきたいと思っています。

例えば、ゴミ収集を「全戸別ゴミ収集」にすると次のメリットがあると思います。

- ・不法投棄が減る。
- ・事業系のゴミが無くなる。
- ・カラス被害が軽減し、清掃の必要が無くなる。
- ・道路使用の必要がなくなる。
- ・といった具合に高齢者にも優しく住みやすくなるのではないかと思います。



平成29年11月5日に同じ悩みがあるということで「内山下・深柢地区住民の話し合う会」を開催しました。

と思います。現在は何とか回っているが、旧住民の町内会はどこも高齢化率が高く破綻に向かっています。岡山市の高齢化率には、新住民（マンション）も反映されているため正確な高齢化率とは言えません。町内会を運営している旧住民の意見を取り上げ市政に反映していただきたいです。また、マンション住民（新住民）も町内会活動に参加を義務付けるなど条例を作ったとき、みんなで一緒に町内会を盛り上げて継続していきたいと思っています。「まちから町内会が消える」過疎と高齢者の住むまちからお願いします。

笑顔につづく、道を走ろう。

岡山トヨタ

〒700-0913 岡山市北区大供3丁目2-12
TEL:086-233-1112

詳しくは [岡山トヨタ](#)

岡山トヨタのホームページで定期点検・車検のご予約、新車のカタログ請求ができます。

岡山商工会議所

会 頭	岡 崎 彬
副 会 頭	中 島 基 善
副 会 頭	石 井 清 裕
副 会 頭	梶 谷 俊 介
副 会 頭	高 谷 昌 宏
専務理事	高 橋 邦 彰

岡山済生会ライフケアセンター

岡山市北区国体町3番12号 TEL:086-252-2222

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、通所介護・リハビリ、ケアハウス、有料老人ホーム、訪問看護・介護、居宅介護支援

子どもを育むベターライフ御南の活動

御南学区連合町内会
会長 澤井 博

西学区と御南学区からなる御南中学校区は、15歳未満の子どもが市内で一番多く住み、支援学校、障害者支援施設に、多くの障害児が学び生活している校区です。

今、御南中学校区では、地域の学校園で学び地域で生活する子ども達が、安全・安心に暮らして行けるまちづくりを地域協働学校の取組みで進めており、

その一つに、子どもと保護者の地域行事への参加を促し地域住民と協働する中で、『地域の子どもは地域で育てる』という共通の連帯感を高めることを目的にした、地域連携推進部会の取組みがあります。

子ども会の組織率が低下し、地域の行事に参加する子どもが激減している昨今では、地域の行事に子どもと保護者の参加を促すことは地域にとっても重要な取組みであり、御南学区においては、連合町内会傘下のボランティア団体「ベターライフ御南」が推進役を担い、旧白石幼稚園跡地を拠点に

①小学生・幼児の親子と地域住民の交流の場（料理作り・遊び・伝統行事の体験）「親子土曜塾」の開催（月2回）

②御南小学校3年生の授業で、用水路を川舟で巡り、自然環境・昔の生活を学習する「舟ゆうさ

ん」の運営、等（年1回）
③乳幼児親子の交流と子育て支援の場「御南和やかサロン」の開催（週2回）

④岡山西支援学校生徒と地域住民の交流の場「岡山西支援学校野菜販売市」の開催（不定期）の事業を行い、子ども達と保護者が地域行事へ参加し地域と交流できる場づくりを行っています。

ベターライフ御南のこの取組みは、御南小のアンケート結果で、家族で地域行事に参加する家庭が2年前の42%から52%に改善されていることから、行事内容を適時見直し継続して行くつもりです。



親子土曜塾（餅つき大会）の様子

洪庵・利玄作文コンクール

足守学区連合町内会
理事 小松 康男

この作文コンクールは、足守出身の蘭学者・緒方洪庵と歌人・木下利玄を顕彰する行事として、学校、地域が一体となって取り組んでいます。

明日を担う子どもたちに2人の偉人の足跡に深い関心を持ってもらうことを趣旨に、地域の小学6年生を対象とした洪庵賞が27回、中学2年生を対象とした利玄賞が21回を数えています。

今回も洪庵は44点、利玄は34点の応募があり、2人の偉人の並々ならぬ努力や苦勞、人間的な優しさ、生き様を素直で豊かな感性で捉えられているか、専門の審査委員の厳選なる審査を行った結果、洪庵賞1点、適塾賞4点、準洪庵賞6点、利玄賞1点、歌人賞1点、準利玄賞5点が選ばれました。

偉人の生涯を学ぶ学習の中で、何となく感じていたものが書くことによって、「偉大な人なんだ」「みんなが暮らしている足守の自然は素晴らしい」と聞かされていたものが、子どもたちの暮らしとつなげて考え作文を書く営みの中で明確なものとなり、子どもたちが成長するにつれて少しずつ実感するようになっていきます。

このコンクールを継続することとは大変ですが、地域の方々の

思いが、子どもたち自身のふるさと足守への見方・考え方に大きな力となっていると思います。



三勲学区（小学校）の歴史について

三勲学区連合町内会
会長 渡邊 盛幸

三勲学区の場所については、市内電車の起点（終点）があり、後楽園の東側の旭川の桜並木も三勲学区です。

学区内には県立の朝日高校を始め、東商業高校、国立の附属幼稚園・小学校・中学校、市立の三勲幼稚園・三勲小学校・操山中学校、私立で山陽女子中学・高校があり、まさに文教地区と言えます。

次に歴史で見ると、学区内には江戸時代の武家屋敷の名残が多くあり、現在も町名に門田屋敷・中屋敷とあり、家老の伊木家下屋敷門があります。また、学区の小橋町に文化ホール・福祉文化会館があり、隣接している中央公民館は平成30年3月末で業務終了し、地区公民館として、平成30年4月に操山公民館が開館いたします。

最初の学問所は、明治5年、学制発布当初、小橋町の国清寺の境内にあった清泰院に設けられ、「第5学問所」と称しました。明治7年に学問所は男女で区別され、男児は国清寺、女児は清泰院と2つの学問所に分けられました。

明治12年に2つの学問所が統合されて、旭川沿いの小橋町に「環翠小学校」が設置されたのち、内山下にあった「尋常岡山小学校」の第3支校と

なり、明治26年に「環翠尋常小学校」となりました。「環翠小学校」の跡地はその後、市立図書館となり、さらに市立中央公民館となり、そして現在には福祉文化会館・文化ホールになっています。

明治22年、市町村制の実施により、上道郡網浜村・門田村・国富村は、上道郡三權（みさお）村となり、「三權（操）尋常小学校」が門田に設けられました。また、明治32年、市区拡張により三權村は岡山市に編入、同時に校名の読みはそのままにして「三勲（みさお）尋常小学校」と校名の文字表記に変更し、岡山市の学校となりました。明治41年、「環翠小学校」と「三勲（みさお）尋常小学校」が一緒になって、旭東小学校が国清寺の前にできました。大正12年に旭東小学校から分離して、高等科を持つ「三勲尋常高等小学校」が現在のところに設立され、今に至っています。

校名については、当時操山に和気清磨・児島高德・楠木正行を祭った「三勲神社」に由来します。三勲小学校はあと5年しますと、創立100周年を迎えます。

平島学区連合町内会
会長 中村 卓由

地域の「備え」について

最近の世相を見渡すと地震・水害による大災害、核とミサイル、世界で発生するテロと多様な脅威に否応無く「備え」を考えさせられます。

平島学区は人口5,000人、2,100世帯が暮らす地域です。高齢化率は平成初めの12%から現在は31%になり岡山市平均を超えています。

防災対策などで当り前に「自助」「共助」「公助」が唱えられています。自助・共助の備えは、なかなか難しい面もありますが、平島の取組みを紹介いたします。

まず「自助」では、高齢者の健康・体力などを考え、自分のことは自分でなんとかする「備え」をサポートしている「平島健康福祉委員会」があります。

次に「共助」では、防災訓練を実施しても若者は集まらず、参加者は高齢者と子供ばかり、いざと云う時に助ける側の若者をどのように参加させて地域との繋がりを実感させるかです。また、日中に災害発生が起きる場合もあり、地域には商業施設・事業所などの企業が進出して若者が仕事に従事しています。

地域と企業のつながりは、お祭りなどの行事に協賛金を頂いているだけの関係ではなく、いざと云う時の備えに近くの事業所が避難場所として助けてくれるとの理解を

して貰うために防災訓練を事業所敷地内で従業員の方にも参加してもらい、地域と企業で防災共助の備えになればと考えて実施しています。

今後は、地域に居住している多くの若者に参加して貰うため、SNSのフェイスブック・ツイッターを活用して地域の情報発信を行い若者に関心を持って貰う様にと考えています。



訓練実施事業所施設でのレスキュー体験



事業所への避難訓練

藤田ふれあい祭り

第二藤田学区連合町内会
会長 遠藤 太郎

藤田は、今から120余年前は海でした。藤田伝三郎により干拓された、米麦、レタス、レンコン、玉ねぎ等の野菜を生産する農業振興地域です。市内中心部に近いことから、非農家も増え、新旧住民が住む田園に囲まれたところです。祭りは多くの皆さんと交流し、地域住民の融和と活性化を図ることを目的として、藤田第一、第二、第三小学校区の連合町内会で地域振興推進協議会を組織し、平成3年より藤田青空市として始め、平成16年に藤田ふれあい祭りと改め実施しており、昨年11月26日、岡山市農協藤田支所において14回目の祭りを開催しました。

祭りでは、小学生の体験新聞、干拓資料の展示、ビデオにより干拓の歴史を紹介するとともに、野菜の品評会、また即売会により藤田の農産物を知っていただくことにより、農業の振興に努めています。

保育園児、小中学生の演技演奏のほか、藤田音頭、藤田伝三郎太鼓、沖縄踊りなどもあり、会場を盛り上げてくれています。



そのほか保健福祉にも力を入れており、健康チェック、献血、介護相談なども行っています。テント販売では、福祉関係の店、老人クラブ、農協女性部など約30店が並び干拓初期の食べ物「ふな飯」なども味わえます。運営は各種団体のほか30名以上の中学生がボランティアで参加し、体験学習をしています。保育園児から高齢者まで4世代が集い、初期の目的を達成し、締めにはビンゴゲーム、お菓子投げ、もち投げで賑わい大盛況の内に終わりました。今年も11月25日に計画しています。市民の皆様、ぜひ藤田ふれあい祭りに来て、干拓地藤田の魅力を感じていただけたらと思います。

楽しきかな! 町内会活動

芳明学区連合町内会
副会長 河野 実

私は、2006年4月に交替で回ってきた町内会の役員決めで代表理事（副会長）になり、翌年からは、西市野田町内会の初代会長を引き受けました。

私は、この地に住居を構えて30年です。旧知の知り合いや仲間はいなくてもその大役を引き受けた理由は、ただひとつ。「町内会活動は、こうあるべきではないか」という自分なりのポリシーがあつて、それを実現してみようと決断したからでした。

それは、町内会の代表として知り得た情報は、町内会会員の全員にお知らせすること。町内会の資産は、適正に管理して何時でも誰にでも公開できるように準備しておくこと。老人と子どもは、会員のみんなで大切にすること等です。

その活動の中で、「子どもを大切にすること」について、お話しします。

毎年、秋に小学校で開催される学区のかたる大会を見て一念発起し、近所の子どもたちを集め、「人生訓かるた」を教えるようになりました。

学区の大会後、毎年1月の成人の日には、岡山市の「新春子ども会かるたとり大会」が開催されますが、その大会

で5年目にして、ついに優勝することができました。

子どもたちも着実に実力をつけて、今年は団体戦2連覇を達成しました。

優勝できたのは、競い合つて練習した仲間がいたからこそ。その結果であつて、練習に参加した全員で勝ち取った優勝旗だと教えています。

限界ギリギリまで精神を集中させて、仲間と笑いながら、騒ぎながら、真剣に練習できたことは、子どもたちの大きな宝物であつて、「生きる力」になると信じています。

私は、「人様のお役に立てることは、いいことだ」と教えられて育ちましたので、その教えを実行しながら、地域の皆さんと共に仲良く、楽しく生きたいと願っています。



平成30年1月 新春子ども会かるたとり大会

町内会を考える(2)

深抵地区連合町内会 会長 飛岡 宏

— 今回の話は、様々な活動を行い、多様性に富む町内会活動の、1つの考え方として意見を述べるのであって「これが正論」という話ではありません。—

〈前号からの続きです〉

町内会活動の基本理念は「絆」「地域の意見集約」であると考えています。

国主導の「市町村の大合併」は、過去に3回行われ、約7万の町村が1,727に減りました。他方、戦後再組織化された町内会に大きな合併はなく、自治会・町内会は全国に296,770(平成15年)あり、岡山市内では1,722町内会(平成28年)、261,816世帯(平成28年)が加入しています。

行政は過去の合併でスリム化され、行政経費の縮小が図られました。これは良い事ばかりではなく、平常時には経費の節減になるが、非常時にはマンパワー不足を起こすリスクを抱えています。それぞれの地域には、色々な経緯・

事情で特別に「配慮すべき事項」があり、これも明文化されず、行政も把握していないことが多々あり、きめ細かな地域独特な判断を行政に期待することには無理があります。

町内会(ボランティア活動)の利点は、営利活動ではないので「活動の利益・効率の追求を続ける必要性」が強いことだと思っています。しかし、活動を行うには一定以上の人員も必要であり、組織的に動くための効率も重要です。利益を最優先にせず、地域の利便性を考えることが大事です。しかし、古来の町内会組織維持が難しくなっており、組織論を含め、柔軟な変化が求められている時代が到来しています。

一般的論では、実働チームは「3〜9名」、管理チームは「3〜5実働チーム」を配置すると適正な運用ができるとされています。そこで、単位町内会では、班は5名、5班で構成すると25名、8名5班だと40名程度の規模になり

ます。この程度の規模が維持されれば、単位町内会活動は、次世代の育成も可能になり維持可能となります。これ以下であれば、組織の継続は難しく、いずれは合併を検討することになります。

マンション住民(管理組合)も地域住民の一員であり、その管理組合の町内会への帰属(加入・未加入)以前に町内会の一員であることには変わりないです。マンション住民も町内会を否定しているのではなく、その関わり方が面倒なのだと考えています。そこで、この関わり方(絆)に関して、時代に即した方法論を考える必要があります。この時のキーワードは「絆」「災害時」「地域」です。

他方、旧住民が過疎化している単位町内会は合併するか方法はありません。1グループ40世帯程度になるような合併を計画する必要があります。この時、大きく変化するののは、連合町内会における代表権です。(選挙の世界で言う「一票の格差」です)町内会組織に「地域の意見集約機能」を持たせるのであれば、「町内会役員の意見を述べる」では合理性がありません。旧住民からすると、単位

町内会の合併により、失うのは発言権であり、得るのは組織の継続性です。しかし、地域に積極的に参加したくないマンション住民が多い地域であれば、合併により構成人員は肥大化します。このジレンマを乗り越える努力も必要です。そこで、「単位町内会の発言権」を「構成する世帯数」に比例する方法も考えられますが、異論も多く、議論が必要です。

また、最近は個人情報保護問題があります。この問題は、ネット社会が到来して個人情報と称する物が簡単にコピー・盗用できるようにするため、OECD(経済協力開発機構)でプライバシー保護を目的に進められたものです。しかし、地域で必要とされている情報とが離反した内容があり、情報公開(オプトアウト)に関する議論が必要です。

今後、少子高齢化が進む日本の町内会は、過去の人口爆発の時代とは違った視点で運用される必要があると考えています。その方法を議論するのを始める時です。

松井工業株式会社

岡山市南区福富東2丁目32-36
電話 086-264-3232

今日を、もっと、笑顔に。

Honda Cars 岡山

後楽園店

快適なカーライフをお届けします。
お車のことは何でもご相談ください!

〒703-8235
岡山市中区原尾島 3-8-12
☎ 086-273-1055 FAX086-273-3815
営業時間 10:00 ~ 19:00
(サービス受付時間 10:00 ~ 18:30)

飛岡 ひおか 内科

受付時間 月 火 水 木 金 土 日

9:00 ~ 12:30 ○ ○ ○ ○ × ○ ○ ×

16:00 ~ 18:00 ○ ○ ○ ○ × ○ × ×

往診・在宅医療の実施

岡山市北区中山下 2-8-20

(086) 233-1188

岡山市連合町内会の動き

◎常任理事会

- ・第5回（10月18日）
三市姉妹交流会の報告及び勉強会について他
- ・第6回（11月21日）
都市整備局との懇談の報告について他
- ・第7回（1月10日）
平成30年度の事業計画について他
- ・第8回（3月9日）
平成30年度の事業計画について他

◎理事会

- ・第6回（10月26日）
町内会長等懇談会について他
- ・第7回（12月6日）
岡山市との意見交換について他

◎会計監査会議

- （10月31日）（1月31日）

◎専門委員会

- ・会報第31号編集委員会
（11月17日）（1月18日）
- ・ICT推進専門委員会
（10月12日）（12月2日）
- ・共済制度運営委員会
（1月9日）

- ・子ども・子育て専門委員会
（9月19日）

- ・男女共同参画専門部会
（1月23日）

- ・町内会長等懇談会実行委員会
（10月18日）（1月10日）

◎女性町内会長等懇談会

- （3月8日）

◎三市姉妹交流会

- （9月22日）

◎三市姉妹勉強会

- （12月15日）

◎岡山市連合婦人会との懇談会

- （10月18日）

◎都市整備局との懇談会

- （10月23日）

◎岡山子育て成局との懇談会

- （12月22日）

◎環境局との懇談会

- （1月24日）

◎会津若松市区長会との懇談会

- （2月22日）

◎各区での町内会長等懇談会

- 北区（11月8日）
- 中区（11月19日）
- 南区（11月22日）
- 東区（12月1日）

◎町内会長等懇談会

- （2月4日）

◎視察受け入れ

- 大津市（11月6日）
- 亀岡市（11月7日）
- 姫路市（11月28日）

◎常任理事視察研修

- （富山県）〈関連記事P4〉
（10月10日）（11日）

◎会員視察研修

- （兵庫県）〈関連記事P5〉
（11月14日）（15日）

◎受賞報告

- ◇岡山市有功表彰
（11月3日）

- 廣田 省吾

- ◇全国自治会連合会会長表彰
（11月9日）

- 矢根 亮二、笠原 一郎

- ◇永年勤続町内会長市長表彰
（12月1日）

- ▼20年以上勤続単位町内会長
：7名（表彰状）

- ▼退任（5年以上勤続）単位
町内会長・区長：67名（感謝状）

◇地方自治法施行70周年記念 知事表彰

- （11月17日）

- 目黒 宏平

- ◇平成29年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰
（11月29日）

- 永見 勝、深井 忠夫



◇秋の叙勲

- （11月15日）

- 岡村 耕輔、天久 嘉弘



岡山県自治会連合会の動き

- ◎平成29年度全国自治会連合会大阪府東大阪大会
〈関連記事P9〉

- 11月9日（10日）（東大阪市）
◎中国四国自治会連絡協議会
〈関連記事P7〉

- 2月9日（岡山市）

全国自治会連合会の動き

- ◎平成29年度全国自治会連合会大阪府東大阪大会
〈関連記事P9〉

- 11月9日（10日）（東大阪市）
◎平成29年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰式

- 11月29日（東京都）
◎中国四国自治会連絡協議会
〈関連記事P7〉

- 2月9日（岡山市）
◎平成29年度全国自治会連合会常任理事会

- 2月21日（郡山市）
（氏名は敬称略、順不同）



社会医療法人 盛全会
岡山西大寺病院
理事長 小林 直哉 院長 花川 志郎
〒704-8194 岡山市東区金岡東町1-1-70
TEL:086-943-2211 FAX:086-943-2212

Q、漢字クイズ

①～⑤の漢字の「部首」と「その読み方」を答えてください。

(例) 券 初 切 分

↓ 部首 読み方
刀 かな

① 厚 原 厨 厭

② 市 師 帝 帚

③ 農 辱

④ 我 戊 戮 截

⑤ 豪 象 豚



前号の答え

金科玉条



正解者の中から抽選で10名の方に粗品を進呈します。
〒住所・氏名を記入の上、下記までお送りください。

〈送付先〉〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市連合町内会 会報編集委員会

〈締切〉平成30年5月1日必着

〈発表〉発送をもって代えさせていただきます。

編集後記

今年の冬は今までになくとても寒い冬でした。この号が発行される頃はぼつぼつ「桜のたより」が聞ける頃だと思います。

今回は各区長に、それぞれの区に対する想いを書いていただきました。各区の名産であったり、自慢であったりと、色々と書かれており面白く拝見しました。

さて、毎回各地域の話題を各町内会に書いていただいています。岡山市中心部の内山下地区では、子供の数が多くので「小学校復活」と言っているながら、「過疎と高齢者のまち」と意外なことが書かれてあり、また深砥地区でも「町内会を考える」と連載で載せられていますが、周辺地域だけでなく、中心部でもこのようなことが現実起こっているのかと、切実な問題提起です。

中心部の新しいマンションに入って住む「新住民」と、昔から住んでいる「旧住民」との「まちへの愛着」というギャップがこうした事態を生んでいるのだと思います。

今後町内会へは、「任意団体・強制ではない」とする考えから、「町内会には必ず属してもらう」といったような拘束力のある方向で考えてもらえればよいと思います。



【編集委員長】
【編集副委員長】
【編集委員】

長門 修二
小野 充作
多賀 弘行
正保 秋人
竹井 多賀巳
谷

